

実務経験のある教員による授業科目の授業計画（シラバス）

専門分野: 理学療法治療学

理学療法学科

授業科目	物理療法（講義演習3単位）	科目担当者	岡松 将吾
実務経験	総合病院での臨床経験で、整形外科疾患や脳血管疾患の理学療法を提供していた。その中で物理療法を使用した運動療法や患者対応を経験した。急性期から回復期まで幅広い病期経験がある。		
実務経験を活かした講義内容	ただ疾患に合わせて提供するのではなく、病期や症状、また多疾患への対応など現場経験を交えながら講義する。		

授業科目	整形外科理学療法Ⅰ（演習1単位）	科目担当者	矢原 友成
実務経験	臨床経験で、主として整形疾患理学療法の実務をしていた。		
実務経験を活かした講義内容	骨折および脊髄損傷の概要と理学療法介入について、座学、実技を踏まえ講義します。		

授業科目	義肢装具学（講義演習3単位）	科目担当者	矢原友成, 宿輪秀範（外部講師）
実務経験	臨床経験で義肢装具が適用となった、整形疾患および中枢疾患の実務をしていた。		
実務経験を活かした講義内容	義肢、装具の概要と適用を座学および実技を踏まえ講義します。		

授業科目	整形外科理学療法Ⅱ（演習1単位）	科目担当者	大島 秀明, 矢原 友成
実務経験	臨床経験で主として整形疾患理学療法の実務をしていた。		
実務経験を活かした講義内容	臨床で担当することの多い各部位の機能解剖学を学び、実技を踏まえ講義します。		

授業科目	運動療法 I (演習4単位)	科目担当者	大島 秀明
実務経験	病院での臨床経験で、主として整形疾患理学療法の実務をしていた。その他、併設のデイケア、訪問リハビリテーションにおける理学療法の実務も多数ある。病期では急性期から生活期における運動療法を理学療法士として提供していた。		
実務経験を活かした講義内容	急性期から生活期まで幅広い病期の実務をして、在宅復帰までの運動療法を実技も含め実践的に提供する。また、各疾患に共通する基礎的な運動療法を中心に提供する。		

授業科目	運動療法 II (演習2単位)	科目担当者	辻和明 大島秀明 岡松将吾 矢原友成
実務経験	病院での臨床経験で、中空・整形・内部疾患理学療法の実務をしていた。その他、訪問理学療法の実務も多数ある。病期では回復期から生活期、急性症状に関する運動療法を理学療法士として提供していた。		
実務経験を活かした講義内容	急性期から生活期まで幅広い病期の実務をして、在宅復帰までの運動療法。具体的には、各病期の運動療法を実技も含め実践的に提供する。		

授業科目	脳血管障害理学療法 I (演習2単位)	科目担当者	竹本 美咲
実務経験	地域の総合病院での臨床経験があり、主として神経障害理学療法の実務をしていた。脳血管障害急性期と回復期での理学療法を経験。		
実務経験を活かした講義内容	実際の経験による脳血管障害の病態を詳しく講義する。病巣による症状の違いなど脳解剖を理解することの重要性を伝えていく。		

授業科目	神経・筋障害理学療法 (演習1単位)	科目担当者	竹本 美咲
実務経験	地域の総合病院での臨床経験があり、主として神経障害理学療法の実務をしていた。急性期と回復期での理学療法を経験。		
実務経験を活かした講義内容	神経変性疾患に対する病期別運動療法や環境・日常生活に配慮した対応など、実際の経験を含めて紹介していく。		

授業科目	内部疾患理学療法（演習2単位）	科目担当者	河波恭弘，山崎俊一（外部講師）
実務経験	<p>病院での臨床経験で、主に救急医療における呼吸器および循環器理学療法の実務をしていた。その他、回復期における整形外科疾患や脳血管疾患の理学療法の経験も多数ある。病期では救急から急性期医療から回復期に関する運動療法を理学療法士として提供していた。</p>		
実務経験を活かした講義内容	<p>急性期から回復期までの実務を通しての内部疾患（呼吸器・循環器・がん・代謝）の理学療法。具体的には、各病期における治療法や運動療法について運動生理学をベースに実技も含め実践的に提供する。</p>		

授業科目	発達障害理学療法（演習1単位）	科目担当者	近藤 直樹（外部講師）
実務経験	<p>小児施設での臨床経験の場で、小児達龍障害主な対象として日々、理学療法士として活躍をしている。</p>		
実務経験を活かした講義内容	<p>急性期から回復期までの小児先天性疾患や発達障害の理学療法士の実務を通して実践的な講義を行う。</p>		